



ポラリス(北極星)を目指すには北極星を見分けること。目指すところ(方向)は一緒でもやり方はそれぞれ多種多様。一人一人の思いをエッセイの形で伝えたい。

ときめき Beating Kashima 鹿島

新年のご挨拶



院長 坂之上 一史

新年明けましておめでとうございます。

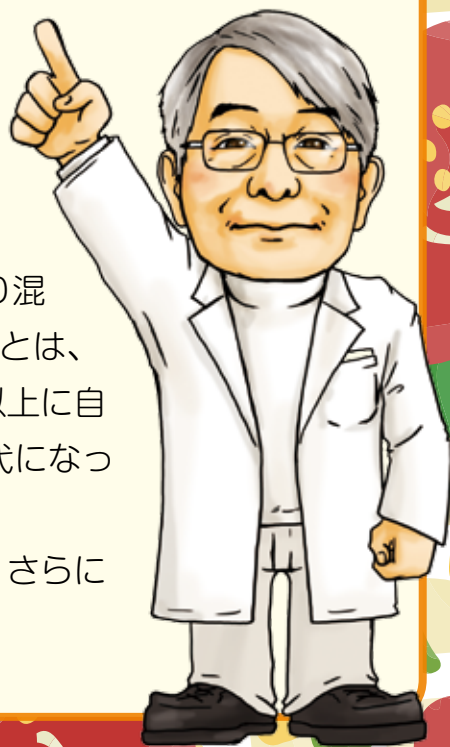
年末に大雪警報が出ましたが、その後は穏やかな正月を迎えることが出来ましたこと、皆さんと一緒に喜びたいと思います。

昨年7月以降、病棟や通所で新型コロナウイルスの集団感染が発生し職員の皆様には大変なご苦勞をおかけし、患者様、利用者様にはご迷惑をおかけしました。第8波の流行とともに年末も押し詰まって病棟で数名の新たな発症がありました。この感染症による混乱はまだまだ続くと覚悟して診療、看護、介護に臨みたいとおもいます。感染症法上の分類がどうであろうと、これまでの経験を生かして、この感染症を必要以上に恐れること無く、対応してまいりましょう。

昨年2月からのロシアのウクライナ侵略という21世紀の出来事とは思えない戦乱に独裁主義の国の危うさを感じます。20世紀で終わったと思っていた植民地主義、自国中心の考え方で、最新兵器を使っただけの侵略という行為は、遠いヨーロッパの出来事と看過できません。トランプのような人がアメリカの大統領に一度は選ばれたという流れにも油断が出来ません。

ウクライナや新型コロナに限らずネット上では真贋取り混ぜて様々な情報が飛び交っています。私たちに出来ることは、身近な偽情報に踊らされ一喜一憂する事無く、これまで以上に自分の考え、常識を磨いて判断、行動することが必要な時代になって来ていると思います。

今年が新型コロナウイルスの混乱が治まった年となり、さらに次の発展につながる年の始まりとなる事を祈っています。



* 卯年職員 *

50音順

今年の抱負



事務部

青戸 紗貴子



明けましておめでとうございます。毎日があっという間に過ぎ、寝落ちしては後悔しております。兎のような可愛さは全くありませんが、兎のごとく飛躍し1年を振り返った時に順風満帆な年だったと思うように過ごしたいと思えます！何より1日を感謝で締めくくる、そんな年を目指します！今年も宜しくお願いします。

看護部

今田 直志



明けましておめでとうございます。入職してから2回目の年男となりました。おかれている立場は以前と少し違いますが、気持ちは入職時のフレッシュなままで、様々な人の力を借りながら、一年を過ごせればと思います。新年の目標を一つ。2キロの障泥烏賊を釣ろう。

診療部

大塚 香



明けましておめでとうございます。コロナ過がいつまでも続いている世の中ですね。やはり、健康が一番と言う事で、【無病息災】!!ではなく…【一病息災】を心掛けていきたいと思えます。元気で過ごせる一年でありますように。今後もよろしくお祈りします。

看護部

川本 弘信



明けましておめでとうございます。25歳で入職し今年で23年目となります。この経験を活かし、引き続き日常のケア、職員教育に役立てればと思います。最近、新しい趣味も出来ました。プライベートでも質の高い生活を送りたいです。時の流れと共に、日々の体調管理も最重要課題となってきました。今年1年、健康に過ごしつつ、次の年に繋げたいと思います。

リハビリテーション部

小谷 麻奈美



あけましておめでとうございます。卯年に入職し、12年目に突入する年となりました。1年目の頃の気持ちを忘れずに、今後も努めたいと思います。感染症により日常生活が脅かされていますが、会いたい人に会いに行ける1年になるよう願っています。本年もよろしくお祈りいたします。

看護部

須山 友理



明けましておめでとうございます。入職して10年はたっていると思いますが、介護職から学生を経て、看護師として勤務させていただいているため、いつまでもフレッシュな気持ちのままです。その気持ちを忘れず、心身ともに健康を保ちながら、患者様により良い看護を提供していきたいです。私生活でも新しく家族が増える為、一日一日を大切にしていきたいです。

看護部 高木 馨斗

看護師として、3年目になりました。経験できていないことが多くあるため、これからより成長していけるよう積極的にいろいろなことに参加する姿勢を持ちたいです。また、1日1つでも学びを増やせるよう勉強する習慣をつけるようにしていきたいです。健康面では、年々運動する機会が減りつつあるため、体を動かし、しっかり食事をするよう心がけたいです。



リハビリテーション部

高橋 智史



入社して2年目が終わろうとしています。現在も患者様に治療を行う上で、知識や経験不足から悩むことはたくさんありますが、リハビリ科の先輩方に限らず様々な職種の方に温かく支えられたおかげで少しずつ成長を実感しています。

今年は専門的な知識や技量の向上だけでなく、様々な人と関わっていくための人間性を高めてチーム医療の一員として戦力になれるよう精進していきます。

何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



リハビリテーション部

高橋 政揮



昨年は先輩に助けていただき一年でたくさんのごことを学ばせていただきました。今年は先輩方に支えられるだけでなく、学んだことを活かしより良い医療を提供できるよう、自分自身のスキルアップを図り患者様に貢献できる作業療法士でありたいと思います。

看護部

西村 順平



今年の抱負は、健康第一です。

理由としては、私事になりますが今年の4月に入籍を致しまして家庭を持つようになったことや、看護師二年目として一段一段階段を上るように学んでいく中で、生活の基盤となる身体の調子を整えることは仕事、私生活を充実させるためにも改めて大事であると思いました。今年は新生活にもなり、毎日三食を食べるのが難しい時間が増えたりと健康に留意できない年でした。

妻を支えていくためにも、毎日100%のパフォーマンスを送る為にも、今年は健康に留意し精進していきたいと思っています。

リハビリテーション部

原 直樹



新年あけましておめでとうございます。コロナ禍では旅行や会食などが難しくなりましたが、その反面でお取り寄せなどで県内外の有名店の品が手軽に食べられる様になりお腹などが立派な部位が目立ってきたので、今年は休日の運動と日常の中で階段を使う・太股で歩く等、日常の中でちょっとした運動を取り入れながら一年を過ごせたらと思います。

看護部

藤井 昌子



新年明けましておめでとうございませう。

私の今年の抱負は、体力をつけることです。子供を産んでから、仕事・家事・育児に追われ、というかそれを言い訳に運動をしていないので、最近では年々体力の衰えを実感します。毎日のストレッチに加えて子供と縄跳びやウォーキングなど、少しでも運動する時間を増やしていきたいと思っています。今年は体力をつけて子供たちと色々なことに挑戦したいです。また、仕事もより効率的に動ける様に頑張りたいです。仕事もプライベートも充実した一年にしたいと思っています。

診療部

平井 多恵



明けましておめでとうございませう。私が鹿島病院に入社して25年が経ちました。人生の半分以上をこの病院で過ごしています。この3年間は、新型コロナウイルスの感染対策に追われ、あっという間に4回目の年女となりました。同じことを繰り返していると、1年は短く感じるようなので、今年は、一つでも多く新しいことに挑戦し、充実した1年にしたいと思っています。



リハビリテーション部

森山 彩夏



卯年の私は、子どもの頃からウサギの様に飛んだり跳ねたり、にぎやかな事が好きで、どちらかというとお転婆な子でした。若いころのリッケが回ってきたのか、最近は身体のあちこちに不調がみられるようになり、湿布にお世話になる事も増えてきました。今年はストレッチなどの自己管理をしながら、仕事もプライベートも充実した一年にしたいと思っています。

リハビリテーション部

松本 宏太郎



年齢を重ねるたびに1年が早く感じます…。気づけば5年目になるため、職員として黙々と業務に取り組むだけでなく広い視点で物事をみられるように努めていきます。リハスタッフとしては脳血管疾患に関することや余暇活動の有効性について深く学習していく予定です。順調に減量できているので引き続き体型維持も頑張ります！



研修医地域医療研修を終えて

松江赤十字病院 研修医 田中 元

1ヶ月間、地域医療研修を受け入れていただき誠にありがとうございました。短い間でしたが、皆さんと共に仕事をするのができ、大変充実した研修を送ることができました。私は今まで松江赤十字病院で急性期の病態を安定させることを目的に入院診療を行ってきました。鹿島病院では主に急性期病院から転院となった患者さんを担当し、それぞれの自宅での生活を見据えた「日常生活に戻るための医療」のあり方を学びました。特に入院時カンファレンスでは、看護、リハビリ、栄養などの多職種の観点から自宅や施設での生活に向けた現実的な退院目標を立て、課題をリストアップし、患者さんの退院目標をスタッフ間で共有していました。医療スタッフが目標を共有することで、スタッフ間のコミュニケーションが取りやすくなり、効果的な治療、リハビリに繋がっていました。往診、訪問診療では、普段は情報として聞いていた自宅での生活状況が、患者さんの生活を通して実際に体感することで、情報を生きた形で感じるすることができました。鹿島病院で得た貴重な経験は、今後の医師として診療を重ねていく上で、力になることばかりでした。鹿島病院の皆さん大変ありがとうございました。



清水先生の

耳寄り情報

第6弾

鹿島病院この10年

医師 清水 保孝

2012年鹿島病院に赴任してから10年ほどの歳月が流れました。当時当院の回復期リハビリテーション病床は23床でしたが、その後徐々に増床され、現在57床となりました。リハビリテーション部も現在PT24名、OT19名、ST6名となり、質的にも量的にも充実してきております。また看護・介護も充実し、医療相談部、栄養課も含めて、定期的に多職種合同カンファレンスを開き、共通の目標を定めながら、患者さんの機能を高めていく診療を行っています。高齢者が多い病院ですが、多くの患者さんが歩行可能となり、上肢機能の回復、ADLの改善も良好であります。回復期病棟の拡充に加え、2017年には地域包括ケア病床が開設され、さらに拡充していくことになりました。療養中心の慢性期病院から、回復期（亜急性期）診療を中心とした病院に変遷しつつあります。

鹿島病院は慢性期病院として、良質なリハビリテーションが提供できる病院であり、加えて看護・医療相談部・栄養課などの多職種が連携して、質の高いチームワークを展開できる病院です。今後も亜急性期から慢性期にかけての一人一人の患者さんに対して、各職種の充実、相互の連携向上を図り、充実した診療を続けていきたいと思っています。



R3.11/24 第10回松北地区包括ケア検討会が開催されました。

今回の議題は「まめネットを活用した医療・介護連携について」です。まめネットは医療機関、訪問看護・介護事業所等を相互につなぐ医療情報ネットワークです。地域包括ケアシステムの構築のため、平成 28年4

月からは、「在宅ケア支援サービス」の運用も開始されています。サービスは、参加機関全てが利用できる「基本サービス」と、参加機関が利用したいサービスを選ぶ「連携アプリケーションサービス」の2種類で構成されています。(図1)



(図1)

まめネットには現在、中核病院、病院、診療所、歯科診療所、薬局、訪問看護ステーション、介護事業所、検査センター、行政機関などが参加しており、R4年11月登録数は964件です。

今回の検討会では連携アプリケーションサービスの在宅ケア支援に関連して、病院と居宅、訪問看護などの連携がまめネットを使ってどのように活用できるのかについての実際を学ぶことが目的でした。松北地区の病院、施設、居宅など多数が参加しました。

まず、NPO法人しまね医療情報ネットワーク協会の医療情報技師中尾吉伸氏からまめネットについて説明があり、そのあと、デモンストレーションとして現在まめネットを使用して定期的に連絡会を行って

る、松江日赤と鹿島病院の現状を伝え、参加各機関からの質問や意見交換を行いました。

鹿島病院ではまめネットを①MSW.間の定期的な話し合い②転院患者の現状や課題の確認のためのカンファレンス③退院時のカンファレンスなどの目的で利用していますが、まだまだ十分な活用には至っていません。コロナ禍でまめネットのようなWebを活用した情報交換手段を整備していくことは重要な課題です。利用に向けてはスピーカーやタブレット端末などの機材整備も欠かせません。

「まめネット」が安定的な運営を継続するためには、医療機関間の連携のみならず、介護サービス事業者や介護保険者との連携も推進し、利用率の向上を図ることが必要だと感じました。

喜井 認知症看護認定看護師の認知症あれこれ



余暇活動や音楽が 認知症の人に与える影響

認知症看護認定看護師 喜井 亜祐子

先日3階回復期病棟では余暇活動チーム主催のイベントが開催されました。コロナウイルス感染予防のためしばらくの間イベントを行うことができていませんでしたが、今回は感染対策をしっかりと行い、3年ぶりの開催となりました。ホールに紅白幕を飾り、法被を着て、職員の安来節をみんなで観ました。おやつの日ということもあり、安来節を観た後はさつまいものケーキを食べました。張り切って法被を着る患者様や、紅白幕を見て「お祭りだ。出店が出るらしい・・・」とワクワクして待つ患者様もいらっしゃいました。安来節が始まると、認知症のある患者様が自然と手拍子をしていました。普段は表情の変化が少なく、言葉でのコミュニケーションが少ない方ですが、安来節の音楽に合わせて手拍子をしておられる姿を見て、イベント大成功！！と思いました。



3階病棟のホールでは美空ひばりさんの歌っている動画がよく流れています。音楽の力なのか、美空ひばりさんの力なのか、日中そわそわして落ち着かない患者様も集中して歌を聴き、動画に見入っている姿をよく目にします。

音楽療法とは「音楽のもつ生理的・心理的・社会的働きを用いて、心身の障害の回復、機能の維持改善、生活の質の向上、行動の変容などに向けて、音楽を意図的、計画的に使用すること」と定義されています。音楽を聴く「受動的音楽療法」と、歌・楽器を演奏するなどの「能動的音楽療法」などがあります。そしてその音楽療法は認知症の行動・心理症状（BPSD）、不安などの改善に効果があるとされています。

音楽療法の実践方法（例）

1. 挨拶や季節の話題など、導入を行う
2. 誰もが知っている定番の曲や季節の曲をピアノの伴奏に合わせて歌う
3. 音楽に合わせて手拍子をうったり、体操をしたり、楽器を鳴らしたり、身体を動かす
4. ゆったりとした曲を鑑賞してクールダウンする



音楽療法と音楽鑑賞・音楽レクリエーションは少し違いますが、なんとなく音楽を聴くだけでも効果は期待できます。また余暇活動は認知症発症の抑制効果があるという報告が多いようです。コロナウイルス感染の影響で、病棟でイベントを実施することが難しい状況ではありますが、また今回のようなイベントを開催することで、患者様が入院生活の中に楽しみや喜びを見つかることができ、心も体も元気になると良いと思いました。余暇活動チームの皆様、素敵なイベントを計画・開催してくださってありがとうございました。





栄養課

活動報告



明けましておめでとうございます。昨年はコロナ感染症での対応に悩まされた年であったかと思いますが、そのような中でも鹿島病院栄養課では活発に活動ができた1年になったと思います。ありがたいことに人員も安定し、これまで下火となっていた行事食やセレクトメニュー、更には通所リハビリへのお食事・手作りおやつ提供もできるようになってまいりました。また、職員の皆様にもご協力いただき、大量調理での試作を兼ねた職員食の提供も行うことができ、その反響も栄養課の励みとなっております。

長い入院生活、面会制限もあり気持ちが落ち込んでしまうこともあるでしょう。

食の面から、少しでも患者さまの楽しみの一助となれますように。今後ともがんばってまいります!!

栄養課一同

新春献立



秋の味覚献立



職員食・先取り
クリスマス献立



セレクトメニュー
かま井



人事のお知らせ

NEWS

新入職員あいさつを

紹介します 50音順

- ①部署・職種 ②趣味・特技は何ですか？
- ③好きなもの・好きなことを教えてください。
- ④一言ご挨拶をお願いします。

岩谷 礼子



- ①訪問看護 看護師
- ②園芸・花をみること
- ③野の花をみたり、コーヒー飲んだりして、ゆったりと時間をすごすこと。
- ④笑顔で、穏やかに、皆さんの一員として、働くことをがんばります。よろしくお願ひいたします。

佐藤 知紗



- ①看護部 4階病棟 看護師
- ②ドラマをみること。
- ③スヌーピー
- ④保育園児2人の子育て中です。久しぶりの病院勤務に緊張しておりますが、早く慣れるように頑張ります。宜しくお願いします。

大塚 麻衣子



- ①看護部 4階病棟 看護師
- ②アロマセラピー、漢方、薬膳の勉強をします。
- ③食べる事です。
- ④4人の小学生の母です。これまで、夫の転勤に付添いながら、少しずつ看護の仕事も続けていました。この度、松江市に定住し、鹿島病院で働かせて頂くことになりました。一生懸命頑張りたいと思います。ご指導よろしくお願ひ致します。

廣江 康人



- ①看護部 3階病棟 介護福祉士
- ②釣り・車・アウトドア
- ③お酒
- ④早く病院に慣れ、良い介護ができるように頑張っていきます。よろしくお願ひ致します。

職員数 5.1.1現在

職種	職員数(名)
医師	7人
薬剤師	1人
P	24人
O	18人
S	6人
看護師(准看護師)	92人
臨床検査技師	2人
診療放射線技師	1人
M S W	6人
介護支援専門員	5人
介護福祉士	56人
歯科衛生士	3人
管理栄養士(栄養士)	4人
調理員	11人
事務職員	21人
合計	257人

令和5年 永年勤続表彰

勤続30年	金坂加代子	菅井 照美					
勤続25年	吉岡真理子	平井 多恵					
勤続20年	神門 政史	井上 明子	板垣 陽介	岩田 知穂	坂根 伸彦	原 栄嗣	
	金津 洋	安達 貴志					
勤続15年	川島 淳	伊藤 美紀	石塚 朱里	青山 祥子	佐々木季実子	内村 千恵	
	烏田 陽子						
勤続10年	小谷麻奈美	土井 千晴	山本 柊太	喜井亜祐子	小谷 健郎	清水真名美	
勤続5年	田原 明奈	山根 千文	梶谷 加奈	佐々木なつき	松近 由佳	赤名 貴之	



公仁会事業報告 (R4年10月~R4年12月) ※退院日は除く

延べ入院患者数=24時現在入院 延べ外来患者数=外来実日数

鹿島病院 ①外来

(診療日数64日)	1日平均患者数
延べ外来患者数	836人 13.0人/日

②病棟 2F特殊疾患病棟

(診療日数92日)	1日平均患者数
延べ入院患者数	5,283人 57.4人/日
レスピレーター装着延べ患者数	1,902人 20.6人/日
特殊疾患	
①脊髄損傷等の重度障害	767人 8.3人/日
②重度意識障害	1,950人 21.1人/日
対象延べ	
③神経難病	1,649人 17.9人/日
患者者数	
④筋ジストロフィー	0人 0.0人/日
3か月間の特殊疾患対象患者割合	82.7%

3か月間の特殊疾患対象患者割合=1日平均対象患者数÷1日平均入院患者数

3F回復期リハ病棟

(診療日数92日)	1日平均患者数
延べ入院患者数	3,807人 41.3人/日
回復期リハ病棟対象患者割合	98.5%
平均リハ提供単位数	4.6

直近6か月間の新規入院患者 / 重症者の割合	94人 46.8%
直近6か月間の在宅に退院した患者の割合	92.0%
直近6か月間の重症改善率	69.4%
直近6か月間のアウトカム実績指数	45.4点

4F療養病棟

(診療日数92日)	1日平均患者数
延べ入院患者数	2,181人 23.7人/日

直近3か月間の医療区分2・3の患者割合

90.1%

直近3か月間の医療区分2・3の患者割合=レセプト実績日数

直近6か月間の在宅に退院した患者の割合(4F全体)

82.2%

4F地域包括ケア病床

(診療日数92日)	1日平均患者数
延べ入院患者数	2,355人 25.5人/日
A・C項目患者の割合	15.8%
平均リハ提供単位数	2.5
直近6か月間の在宅に退院した患者の割合	76.8%

鹿島病院短期入所

(診療日数92日)	1日平均患者数
ショートステイ延利用者数	17人 0.2人/日

ショートステイ延利用者数=レセプト実績日数

患者重症度指数 強化項目 リハビリ数

在宅サービス部

①通所リハビリ“やまゆり”

(稼働日数77日)	1日平均利用者数
通所リハビリ延利用者数	2,980人 38.7人/日
短期集中リハビリ実施数	272単位 3.5単位/日

②訪問リハビリ“つばさ”

(稼働日数61日)	1日平均利用者数
訪問リハビリ延べ利用者数	41人 0.7人/日
訪問リハビリ延べ単位数	81単位 1.3単位/日

③訪問看護“いつくしみ”

(稼働日数61日)	1日平均利用者数
訪問看護延利用者数(医療)	190人 3.1人/日
訪問看護延利用者数(介護・看護)	422人 6.9人/日
訪問看護延利用者数(医療・介護・リハ)	216人 3.5人/日

④鹿島病院やまゆり居宅介護支援事業所

(稼働日数61日)	月平均策定数
延べケアプラン策定数	381人 127人/月
延べ介護予約ケアプラン数	230人 77人/月





医療法人財団公仁会中期ビジョン2022

医療・介護が一体となり、リハビリテーションを柱としたサービスを展開し、急性期病院をはじめとする医療機関・介護事業所・行政機関との連携を軸に、橋北地区の地域包括システムを支える。

<ビジョン策定の主旨>

橋北地域における地域包括ケアシステムの中核病院として、入院・外来医療と介護サービスの質の向上と継続的提供のため中期ビジョンを策定する。

<本計画の期間>

この計画は2022年4月から2025年3月までの3年間を期間とする。

1. 良質な回復期・慢性期医療

(1)回復期医療

回復期リハビリ病棟と地域包括ケア病床でのリハビリテーションのさらなる充実と、外来リハビリ、通所リハビリ、訪問リハビリとの密な連携により、地域の回復期医療を担っていく。

(2)慢性期医療

特殊疾患病棟・医療療養病床で長期入院を要する患者に対応し、地域包括ケア病床で高齢患者に準急性期医療を提供することで地域の慢性期医療を担う。

(3)質の高いリハビリテーション

リハビリ療法士の数的充足のみではなく個々の療法士の質的向上を図り、医療機関との交流を図る。

(4)外来・訪問診療

訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、通所リハビリとの連携で外来診療・訪問診療を一層効果的に運営する。

2. 在宅生活を支える医療・介護

(1)良質な在宅医療

患者にとって「安心を支える在宅医療」を促進するため、外来・訪問診療と訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所との連携を一層進めめる。

(2)良質な在宅支援サービス

外来部門、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所ならびに通所リハ、外来リハ、訪問リハが質・量ともに向上し、リハビリテーションを柱とした質の高い医療・看護を提供する。

3. 地域連携 及び 地域貢献

(1)病病連携、病診連携、地域（行政（県・市・保健・福祉・介護）、地区）連携

新型コロナウイルスによるパンデミックにより交流会など顔の見える連携の会が開催できていない状況であるが、パンデミックが収まれば早急に意見交換会などを開催する。

(2)予防医療や介護技術を地域へ普及

地域住民への啓発活動や医療・介護関連職種に対しての勉強会等を通じて、地域に積極的に知識を還元していく。

(3)地域への情報発信

病院の機能や在宅サービス機能、治療成績、行事等についてホームページや広報誌等を活用して、積極的に情報発信を行い公仁会のブランド力を高める。

4. 医療安全・院内感染対策

(1)医療安全

医療・介護サービスを提供する全ての方へ医療安全を担保することは前提条件であり、日常から緊張感をもって業務改善に努める。

(2)院内感染対策

院内感染が起こってからの対策のみならず「発生しないための対策」「予防策をいかに取るべきか」院内感染防止対策委員会の活動だけでなく日頃からの予防教育を継続する。

5. 医療サービスの質の改善

(1)機能評価の評価に基づく継続的改善活動

2020年に日本医療機能評価機構の実施する病院機能評価3rdGV2.0を更新受審した。この結果を踏まえ診療行為の更なる向上を図る。

(2)臨床指標（Clinical Indicator）の活用

診療報酬体系がストラクチャー評価からアウトカム評価重視へ移行する過渡期の中で、当院のアウトカムである在宅患者受入れ率や在宅復帰率、リハ効率、医療区分割合、医療看護必要度、訪問診療回数などを院内外に積極的に発信していく。

(3)患者満足度向上の組織的取組み

継続的なアンケート調査を行い患者ニーズの把握に各部署務め、満足度向上のため継続的に努力する。

(4)施設・設備・環境の整備と充実

患者のQOLに資すること、並びに職員の動きやすい環境の整備を計画的に進める。

6. 人材の確保と育成

(1)人材の確保

良質な医療・介護をより向上させる為、必要人材を適時適切に確保する。

(2)人材の育成

新型コロナウイルスのパンデミックにより停滞した、研修会、研究会を計画的かつ積極的に行い、各人の一層のレベルアップを行う。

(3)働きやすい環境の整備

働きやすい環境を作り、離職防止の取組、キャリアアップサポート、福利厚生事業の充実など、魅力ある職場づくりを行う。

(4)学生の受入れ

学生実習の積極的受入れを行い職員のレベルアップを促すとともに、採用機会を増やすような取組みを引き続き行う。

7.OAを活用した業務の見直し

OAを活用し無理無駄のない業務へと見直し、省力化の一層の促進に取組む。

編集後記

あけましておめでとうございます。昨年も新型コロナウイルスの猛威は衰えず神経を使う

日々ではありましたが、こうして無事に新年を迎えられたこと嬉しく思います。さて突然ではありますが、我が家にはコロナ以前にお迎えしたうさぎさんがいます。今年の干支ですね。わんちゃんやねこちゃんほど分かりやすくはありませんが、毎日いろんな表情を見せてくれる日々の疲れを癒してくれます。新しい家族をお迎えすると日々のお世話に加え、生活に必要な品を揃えたり、もしもの時の治療費も高く、金銭面での負担もそれなりに増えたりもしますが、それ以上に癒しと笑顔を与えてくれる大切な存在となります。もし新しく家族をお迎えした方、予定のある方がおられましたら、迎えた小さな家族に、

最期の時までしっかりと愛情を注いで楽しい家族生活を送ってくださいね。きっと大変さ以上の愛情を返してくれますよ。

今年も1年、皆様とご家族様に幸の多い1年となりますようお祈りしています。 広報委員会 一同



■編集・発行・責任者：広報委員会委員長

医療法人財団公仁会 〒690-0803 島根県松江市鹿島町名分243-1
e-mail ksm@kashima-hosp.or.jp http://www.kashima-hosp.or.jp/
鹿島病院 TEL(0852)82-2627(代) FAX(0852)82-9221
訪問看護ステーション(いつくしみ) TEL・FAX(0852)82-2640
やまゆり居宅介護支援事業所 TEL・FAX(0852)82-2645
通所リハビリテーション(やまゆり) TEL・FAX(0852)82-2637
訪問リハビリテーション(つばさ) TEL・FAX(0852)82-2637

■印刷元 柏村印刷株式会社